

(Daily 日本史) ~近世→近代の貨幣史~

【問】 2002年 慶應義塾大学 経済

江戸時代から第二次世界大戦前までの貨幣制度に関する以下の問8～問11に答えなさい。

問8 江戸時代の貨幣制度に関する以下の設問(1), (2)に答えなさい。

(1) 江戸時代の貨幣について、つぎの文中の(a)～(d)にあてはまる事項をそれぞれの語群から選びなさい。

江戸時代の金貨は(a)貨幣で、(b)を単位とした。一方、銀貨は(c)貨幣で、(d)として使われた。

[(a), (c)の語群]

1. 計数 2. 秤量 3. 信用 4. 兌換 5. 不換

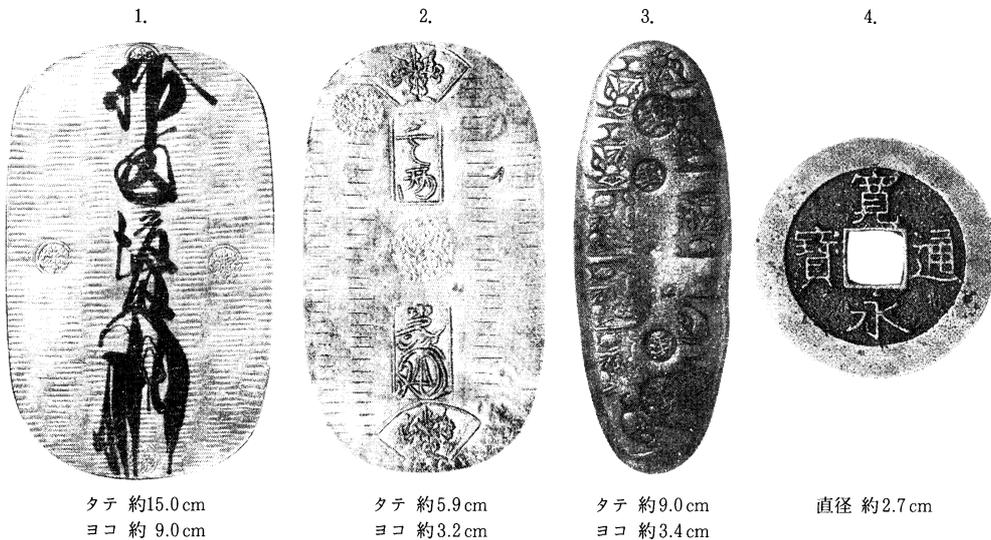
[(b)の語群]

1. 1朱=4分=16両 2. 1朱=4両=16分
3. 1分=4朱=16両 4. 1分=4両=16朱
5. 1両=4朱=16分 6. 1両=4分=16朱

[(d)の語群]

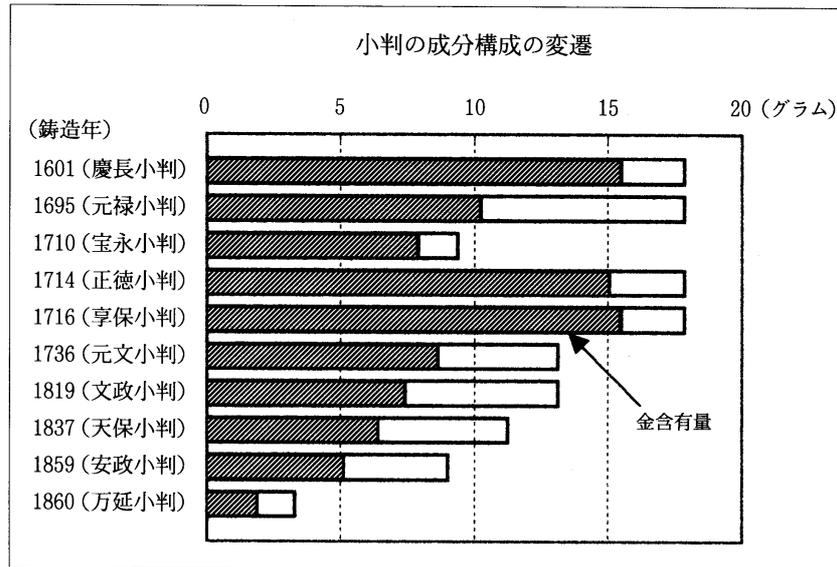
1. 東日本を中心に、匁を単位 2. 東日本を中心に、文を単位
3. 西日本を中心に、匁を単位 4. 西日本を中心に、文を単位

(2) 江戸時代に使われた次の1～4の貨幣(ただし、原寸とは異なる)のなかから、丁銀を選びなさい。



問9 幕府は、貨幣経済の進展に対応するために貨幣制度の変更を余儀なくされ、さらに幕末開港後の経済の急激な変化にも対応を迫られることになった。このことについて、以下の設問(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の棒グラフは、慶長年間以降に鑄造された小判の成分構成を示したものである。グラフの棒の長さは小判1枚の重さを、斜線部分は小判1枚に含まれる金含有量を示している。この図を参考にして、下の文中の(A)～(C)、(a)～(c)および(ア)にあてはまる事項を、それぞれの語群から選びなさい(重複使用可)。



元禄時代になると、貨幣経済の発展がめざましく、幕府は勘定吟味役の(A)の意見を取り入れて、慶長小判と比べて金含有量を(a)元禄小判を鑄造した。その結果、物価が高騰したために、幕府は朱子学者の(B)の考えに従い、慶長小判と同じ程度になるまで金含有量を(b)正徳小判を鑄造することになった。

その後、10代将軍家治の時代に(C)が幕府の実権を握ると、商人の経済力を活用しながら幕府財政を再建しようとした。具体的には、金中心の貨幣制度への統一をめざして(ア)を鑄造し、貨幣流通の円滑化や商品流通の拡大を図った。

幕末開港をむかえると、大量の金流失という事態を打開するために、小判1枚の重さと金含有量双方を(c)万延小判が鑄造された。

[(A)～(C)の語群]

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 新井白石 | 2. 荻生徂徠 | 3. 荻原重秀 | 4. 田沼意次 |
| 5. 松平定信 | 6. 水野忠邦 | 7. 本居宣長 | 8. 柳沢吉保 |

[(a)～(c)の語群]

- | | |
|---------|---------|
| 1. 増やした | 2. 減らした |
|---------|---------|

[(ア)の語群]

- | | | | |
|---------|----------|----------|--------|
| 1. 寛永通宝 | 2. 享保一分金 | 3. 南鐮二朱銀 | 4. 豆板銀 |
|---------|----------|----------|--------|

(2) 幕末期における経済の変化について述べた次の文章の(a)～(d)にあてはまるもっとも適切な事項を、それぞれの語群から選びなさい。

開港以降、(a)、茶、海産物などの貿易商品を、生産地の(b)が当時の最大の貿易港である(c)へ直送したため、(b)と三都の(d)との対立は深まっていった。そして(d)が、商品流通ルートの統制を求めた結果、幕府は1860(万延元)年に五品江戸廻送令を発令した。

[(a)の語群]

1. 生糸 2. 米 3. 綿糸 4. 木材

[(b), (d)の語群]

1. 株仲間商人 2. 在郷商人

[(c)の語群]

1. 神戸 2. 長崎 3. 箱館 4. 横浜

問10 明治時代の財政・金融について、以下の設問(1)、(2)に答えなさい。

(1) 明治初期の貨幣制度に関する次の文中の(a)～(f)にあてはまる事項を下のそれぞれの語群から選びなさい。

明治維新政府が最初に発行した全国通用紙幣は(a)であるが、これは財源不足を補う意味があった。次に、日本の貨幣制度を世界的水準に合わせるために、1871(明治4)年に(b)をめざした(c)を定め、円を貨幣の基本単位とした。また、翌年民間の力によって発券銀行を設立させるため、(d)が中心となって、(e)の制度にならい、(f)を定めた。

[(a)の語群]

1. 西郷札 2. 兌換銀行券 3. 太政官札 4. 地券

[(b)の語群]

1. 管理通貨制 2. 金本位制 3. 金銀複本位制 4. 銀本位制

[(c), (f)の語群]

1. 貨幣条例 2. 銀行条例 3. 国立銀行条例
4. 新貨条例 5. 兌換銀行券条例 6. 日本銀行条例

[(d)の語群]

1. 岩崎弥太郎 2. 五代友厚 3. 渋沢栄一 4. 山県有朋

[(e)の語群]

1. アメリカ 2. イギリス 3. ドイツ 4. フランス

(2) 金本位制確立にいたる過程について述べた次の文章のなかから、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. 明治十四年の政変直後に大蔵 に就任した松方正義は、不換紙幣の乱発による物価高騰をおさえるために、紙幣整理を行なった。
2. 松方正義は、きびしい緊縮政策と増税によって紙幣整理を行ない、その結果、激しいデフレーションが進行した。
3. 松方正義は、日本初の中央銀行を設立し、金兌換の銀行券を発行させたが、他の銀行の発券を禁止しなかったため、物価が高騰した。
4. 日清戦争後に、松方正義内閣は貨幣法を制定し、清国からの賠償金を準備金として金本位制を確立した。

問 11 第一次世界大戦期から 1930 年代にかけて、国際的な金本位制は大きく動揺した。このことに関して、以下の設問(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の表は、米・英・仏・日 4 カ国の金輸出の禁止、解禁、再禁止の時期を示している。表中の 1～4 の国のうち日本はどれか、選びなさい。

国名	禁止	解禁	再禁止
1	1915 年 7 月	1928 年 6 月	1936 年 9 月
2	1917 年 9 月	1919 年 6 月	1933 年 4 月
3	1917 年 9 月	1930 年 1 月	1931 年 12 月
4	1919 年 4 月	1925 年 4 月	1931 年 9 月

(2) 次の文中の(a)～(d)にあてはまる人名を下の 1～8 から選びなさい。

日本が金輸出解禁を行なった時の総理大臣は(a)，大蔵大臣は(b)であり，また金輸出再禁止を行なった時の総理大臣は(c)，大蔵大臣は(d)である。

1. 犬養 毅
2. 井上準之助
3. 岡田啓介
4. 斎藤 実
5. 高橋是清
6. 田中義一
7. 浜口雄幸
8. 若槻礼次郎

【解答】

問8

(1) (a) 1 (b) 6 (c) 2 (d) 3

(2) 3

問9

(1) (A) 3 (B) 1 (C) 4

(a) 2 (b) 1 (c) 2

(ア) 3

(2) (a) 1 (b) 2 (c) 4 (d) 1

問10

(1) (a) 3 (b) 2 (c) 4

(d) 3 (e) 1 (f) 3

(2) 3

問11

(1) 3

(2) (a) 7 (b) 2 (c) 1 (d) 5